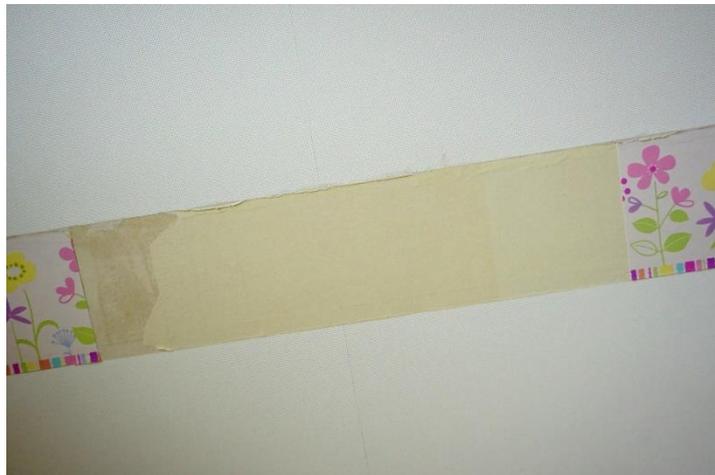


園内ちょこっと探検記 8

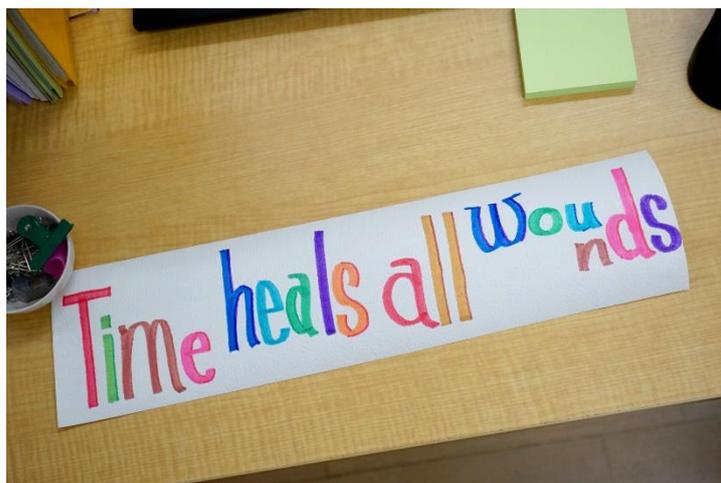
2022.8.4

謎の壁紙

かがやきの壁紙、所々に不思議なデザインの部分があるの、気付いてらっしゃいました？あれ、実は破れた（破られた？）壁紙を補修した跡なんです。今回の探検記は、どんな補修がされてるのかちょこっとご紹介します。

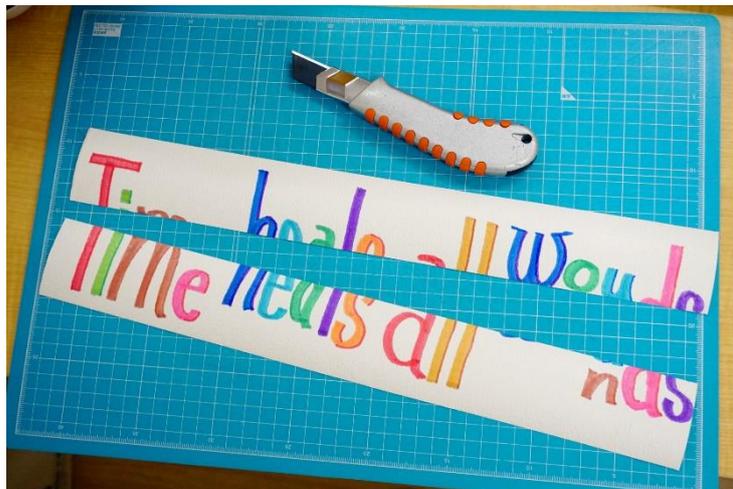


まず、壁紙が破れたら、補修しやすい形に壁紙を切り取ります。ちょっとでもめくれかかっていると、人類はどうしようもなく、もっとめくってみたいくなるので、それを防ぎます。

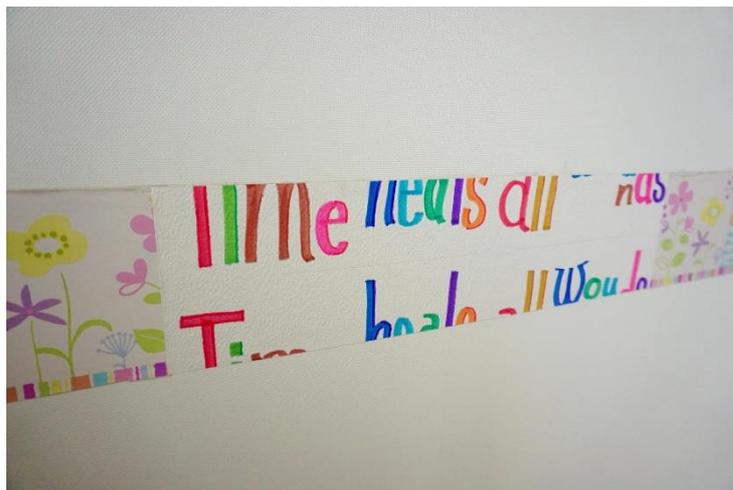


同じ形の新しい壁紙を用意し、英語のことわざを書きましょう。今回は、Time heals all wounds.「すべては、時が解決する」です。

次に、



ことわざが描けたら、一旦上下に切り離してしまいましょう。



補修場所に上下さかさまに貼りつけて補修完了です。

上下を逆にするので、パッと見、何かのデザインのように。よほど好奇心の強い人でなければ、「これって、何なの？」と思わないのです。

かがやきには、こんな壁紙の補修が何カ所もあります。

たとえば、

Things are not so bad as you think. 「事態は君が思ってるほど悪くないよ」

A storm in a teacup. 「コップの中の嵐」

It's always darkest before the dawn. 「いつも夜明け前が一番暗いんだ」とか、

中には

What will be, will be. 「なるようになる」なんてのもあります。

興味のある方は、一度探してみてくださいね。

by ぢいち